山あいに突如現れる老舗旅館

三笠市

三笠市街から桂沢湖へ向かう道すがら。突如として現れる「かも鍋」の幟（のぼり）。ここで?!と思わず目をやると、昭和初期に建てられた秘湯感たっぷりの湯の元温泉旅館が。その名前と佇まいから、上質な湯であることは間違いないと確信する。

浴槽は内湯と露天がひとつずつ。無色透明、無味無臭の単純硫黄冷鉱泉だ。いつまでも浸かっていたいような、やわらかい肌触り。湯上り後も身体が温かく、山あいならではの静けさと虫の声をBGMに、休憩室でゆっくりと休むのは至福の時だ。

さて、幟にあった名物の合鴨鍋。日帰り入浴でも食べることができるが、宿泊者は夕食に。三笠産の豆腐や野菜を入れ鴨肉で蓋をする。カツオと醤油のだしに、合鴨のうま味がたっぷり染み出し、思わず箸が進むおいしさ。温泉に入り空腹となったお腹をどんどんと満たしていく。締めの雑炊でだし汁の最後の一滴まで綺麗にいただく。

周囲に建物がないため、夜は闇が深く、時間感覚も失われてしまいそう。晴れた日には満天の星空が広がる自然の中の宿だ。

三笠市桂沢94
TEL.01267-6-8518

宿泊情報 • 1泊2食 大人1名7,000円〜

1

2

3

4

5

6

1·2. ぷりっとした食感の合鴨肉とスープがよく合う。食事だけの利用も可。
3. 客室はゆったりとした和室。静けさが一番のご馳走だ。
4. チーフマネージャーの八戸卓哉さん。地元出身者だ。
5. 豪雪地帯の三笠市。冬の露天風呂は雪に埋もれるようにして。
6. 屋根には大きく温泉名が。見逃すことはまずないはず。